

# 福島県産品PRセミナーと試食・商談会 ～ 風評被害払拭に向けて Keep it up 福島! ～

シンガポール事務所

福島県は、7月31日（金）に、昨年6月に条件付きで輸入規制が緩和されたシンガポールで、東日本大震災と東京電力福島第一原発事故後初めて、副知事による安全性を説明するセミナーと、県産品をアピール試食会および商談会を実施しました。

## 1. 副知事による県産品のPRセミナー

セミナーでは、地元のバイヤーや飲食店事業者らが参加する中、福島県副知事による復興の現状、原発への影響と農産物の安全性、安全性を確保するための対策、今後の販路や福島の魅力についてのプレゼンテーションが行われました。

福島県では、安全性を確保するために、農畜産物への放射性物質のチェックを行っており、地域全体でも公民館などの身近な所でもチェックできる体制を整えています。また、米は全袋、ベルトコンベア式の検査機を使いチェックし、検査済みのラベルを付けて出荷し、基準を超えたものは市場に出さないよう徹底した対策を取っています。

副知事は、「県産品の安全性をしっかりと伝えていく」と強調し、未だ厳しい規制が続く香港や台湾などの規制緩和に繋げていきたいと語りました。

セミナーの最後には、副知事を中心に県関係者や参加者らが壇上に上がり、「福島の味を楽しもう」と拳をあげ、全員団結して福島を盛り上げようとする熱気が感じられました。

## 2. 試食・商談会

引き続き開催された「試食・商談会」では、政府、ホテル、食品関係者ら100人を超える参加者が集まりました。副知事らを中心に福島の酒で鏡割りのセレモニーが行われた後、今回の試食会と商談会の成功を祈念し、日本酒で乾杯が行われました。

試食会では、福島牛、桃、米、日本酒が提供されました。福島の酒は、全国の日本酒の蔵元が新酒の出来栄を競う全国新酒鑑評会で、3年連続金賞受賞数1位を獲得するほどその品質の高さと深い味わいが魅力で、試食会でも「取り扱いを検討したい」という声があがっていました。

桃は、主力品種の「あかつき」が提供され、糖度の高さと美味しさで、出してもすぐに皿が空い



震災後初めて出荷する福島産の桃

てしまうほど人気を集めていました。

酒で喉を潤した後は、米と福島牛を堪能し、最後にデザートである桃を試食するというコースが設定されており、一回りすると、食事のフルコースをいただいたような感じになるユニークな工夫もされていました。

食材を試食してもらっただけでなく、全農の職員が熱心に参加者の反応や意見を聞き取りメモを取っている姿がとても印象的で、何とかして風評被害を払拭し、次につなげていきたいという関係者全員の姿がありました。



福島の地酒で今後の成功を祝う



福島牛と米を参加者にふるまう関係者

(堀江所長補佐 栃木県小山市派遣)

CLAIR